

## 2023年度 環境フィールドスクール (11/11)

「長崎の獣害対策—地域資源としての野生動物の活かし方」が行われました。

2023年11月11日(土)に、長崎県農林部、諫早猪処理販売センターの方々のご協力を賜り、鳥獣被害の実態と対策について学び、イノシシの解体を通じて利活用のありかたを考えるフィールドスクールを実施しました。事前の説明会を通じて各自で調べ学習を行い、当日解体したイノシシ肉は各自で持ち帰り、イノシシの部位などに応じて調理に挑戦し、レシピを作成するところまでを実習としました。

午前中に長崎県農林技術開発センター(諫早市)を訪問し、長崎県の鳥獣害担当者や諫早猪処理販売センターの方より、獣害問題とその対策の現状について解説いただきました(写真1)。午後は諫早市猟友会会長のご協力により、イノシシの止め刺し(とめさし)の様子を見学させていただき(写真2)、その後は猪解体処理センターにて、ご指導をいただきながらイノシシを自分達の手で解体しました(写真3)。

イノシシ肉はさらに学内でミンサーやスライサーで調理しやすく加工し、安全かつ美味しくいただくためにはどう調理したらよいか、各々が工夫を凝らしながらレシピを考案しました。



写真1：獣害問題の現状や対策の方法を学ぶ  
(長崎県農林技術開発センター)



写真2：イノシシの止め刺しの様子を見学



写真3：イノシシの解体体験



集合写真(猪解体処理センター)